

第 26 期第 2 四半期累計期間の業績のご報告 (2021 年 7 月 1 日～2021 年 12 月 31 日)

2022 年 3 月 吉日
日本システムバンク株式会社
代表取締役社長 野坂 信嘉

当第 2 四半期累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、持ち直しの動きが見られました。先行きについては、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待されますが、変異株をはじめ感染症による内外経済への影響や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があり、先行きは不透明な状況となっております。

駐車場業界におきましては、緊急事態宣言の適用期間中は、新型コロナウイルスの感染拡大の抑制を目的とした外出自粛の影響により駐車場利用者数が著しく減少し、極めて厳しい状況となりました。一方、2021 年 9 月末の緊急事態宣言解除後は、全国的に売上の改善が見られました。

このような状況の中、当社は「社員及び関係者の安全確保」という基本方針の下、売上原価及び販管費の低減並びに新規投資の縮小などを実施し、可能な限りの利益の確保に取り組んで参りました。

コインパーキング事業では、採算が悪化した駐車場の撤去及びコストの見直し、並びに駐車場の新規開設を抑制しました。

プロパティマネジメント事業では、コストの見直し及び不要不急の投資を控え、利益の確保に努めました。

以上の結果、当中間期における売上高は 2,885,172 千円となりました。

事業区別	金額	前年同期比
コインパーキング事業	2,817,394 千円	95%
プロパティマネジメント事業	64,741 千円	82%
その他	3,036 千円	99%
計	2,885,172 千円	94%